

新しい京都のデザイン

京都デザイン賞
2014

入賞・入選作品

KYOTO DESIGN ASSOCIATION
www.kyoto-design.net/award.html



KYOTO
DESIGN
AWARD
2014

京都デザイン協会は、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業の振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立し、46年間に亘る活動を続けてまいりましたが、より一層の社会貢献をはたせる団体を目指し、昨年6月4日には新たな組織としての公益社団法人京都デザイン協会に移行、活動を開始いたしました。

「京都デザイン賞」の入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として公募し、応募された作品の中から、審査により厳選された作品です。

第6回の今回は102点の応募作品から、36点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞 大賞、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞、京都新聞賞、今年から新たに加えた課題部門「日本酒ラベルデザイン」への伏見酒造組合賞、学生賞をそれぞれ1点ずつ選出させていただきました。

ここに「京都デザイン賞2014」の入賞・入選作品を選出し展示させていただけますことは、出品者をはじめ、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人のみならずのご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは「京都デザイン賞」で選ばれた優れた作品を、「京都発21世紀の大きな波」として日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2014年11月

主催者代表 公益社団法人京都デザイン協会
理事長 奈良 肇雄

審査員講評

杉崎 真之助（グラフィックデザイナー・大阪芸術大学教授）

この賞では、あらゆる作品が領域を横断して一堂に集まり、京都の地という文脈を通してデザインの価値や本質が問われることが大きな特色です。グラフィックデザインをコミュニケーションの視点から大きく捉えて、印象に残った作品を紹介します。まず、京都新聞賞の宮津・竹の学校「手ぼうきキットとデザインブルーム」は、竹ぼうきにより竹と地域の価値を再発見するブランディングであると見ることができま

す。京都市長賞「古都呼吸石けん」は、石鹸を媒体と位置づけ、北山杉と香りこそがコアコンテンツであるという視点が素直に定着されています。「京都の清酒」では、清酒のラベルの固定概念を破る提案が選ばれました。京都商工会議所会頭賞の「金魚のラベル」は、学生部門からの応募です。内と外、お酒とイメージがピンの小宇宙となり、見る人と酔いのエクスペリエンスが設計されて

いました。伏見酒造組合賞の「地図と地名のラベル」は、半透明の紙を通して2つの情報レイヤーで構成され、ラベルを情報メディアとして拡張しています。入選作の中では、松栄堂「お香 薫々シリーズ」、尚雅堂「京のお漬物ポチ袋」、第一紙行「掛花」、辻商店「漉入れ懐紙」をはじめ、プロダクトデザイン、雑貨などの分野において、グラフィックデザイナーの視点から数多くの秀作を目にすることができたのが印象的でした。

滝口 洋子（京都市立芸術大学教授）

デザインは人間の豊かな生活のために様々な問題を解決するためのツールであると考えます。今年の審査では複雑化するデザインを評価することの難しさを改めて感じました。第1～第4分野という分け方に沿った純粋なプロダクト製品やグラフィックの提案も多いのですが、「宮津・竹の学校の手ぼうき」や「古都呼吸石けん」などはひとつの分野におさまるスケールの提案ではなく地域活動の一環であり、展示されたモノとともにその背景にあるプロジェクトが評価されたといえます。これからますます増えていくであろうソーシャルデザインの取組みをどのように扱うかは今後の課題だと思いました。

第2分野の作品では、「インテリアテキスタイルを使った帯」はキモノファンにもこれからキモノにチャレンジする人にも興味をもたれそうです。「シルクのキルティングコート」は軽く、暖かく、和洋性別を問わずおしゃれに着用できる点が評価できました。黒無地は無難でかつスタイリッシュな印象がありますが大胆な色柄や織り方でも面白いでしょう。

この作品だけでなく数年にわたっての出品がいくつかみられ、京都デザイン賞への期待を嬉しく感じるとともに、主催者側だけでなく出品される側との協働でこのデザイン賞が進化していくのだと審査させていただく責任も感じました。

デザインは完成したモノやプランの良さはもちろん大切ですが、作り手からのメッセージ性もそれ以上に重要です。京都への思いの詰まった新しい提案を来年も楽しみにしております。

北條 崇（プロダクトデザイナー・京都造形芸術大学准教授）

デザインを賞として評価する際には、単にスタイリング（色、柄、形）だけでは無く、社会に対してどのように働きかけをしているか、というより総合的な視点が求められるようになっていきます。

京都デザイン賞は、それらに加えて「京都らしさ」をいかにデザインの中に組み込むかが課題になっている賞となります。

今年は商品としてのデザインの完成度は高いものが多く、京都のデザインの底上げを感じました。ただその中で賞を選ぶ際には、社会に対する問いかけと、京都らしさと両立するデザインの難しさを感じました。今回受賞された商品は、その様な視点で優れたデザインをされているものになります。

「三井ガーデンホテル京都新町別邸」は、街の古い文化を未来に継承する為の取り組みを高い次元で両立させた点が評価されました。「Guild Japan Kyoto『一品・MASAKI』Series」は、木象嵌の技術、木の高い加工技術で新しいジャンルへ展開した点が評価されました。「古都呼吸石けん」は、商品の背景として現在活用が求められている北山杉の活用案として、精油を利用するという所が評価されました。「宮津・竹の学校 手ぼうきキットとデザインブルーム」はコトのデザインとして、庭師の文化の継承と竹材の有効活用、地域興しなど複雑に絡み合う課題を、スマートに解決した提案でした。また、「米（マイ）Little Kyoto」は、ギフト用のお米の市場に京都という新しい視点の、意欲に富んだ学生らしい提案でした。

惜しくも賞を逃しましたが、「Silk Art Tea Table」や「掛花」などをはじめ、他にも質の高い商品が多数入選していました。

ただ、展示での商品の見せ方が不十分なものも多く、良さが感じられるのに説明されていないものも多くありました。お客様に届けるまでの経験をデザインするという視点で、商品開発にあたって頂きたいと思います。

新井 清一（建築家・京都精華大学教授）

京都デザイン賞の審査に於いて応募された作品は、提案部門、作品及び製品部門、課題部門に分類されたものであった。第1分野のグラフィック・イラスト・パッケージデザイン、第2分野のファッション・テキスタイル・着物、第3分野のプロダクト、雑貨、そして第4分野のインテリア・建築・ランドスケープなどである。これらのラインアップを俯瞰して観られる機会をいつも楽しみに審査会場にやってくる。しかしながら、多くの作品を目の前にしてみるとその審査基準をもう一度呑み込み、京都というキーワードをデザインの要素として提案されているかが審査の基準とならざるをえない。この点を踏まえ審査に望んだ。

京都デザイン大賞の三井ガーデンホテル京都新町別邸は、そのデザイン意図が京都デザイン賞の趣旨に合致しているに他ならない。ファサードはあたかも以前から存在していたかの様に繊細に分節され、既存の構築物と相まって違和感は殆ど感じられなかった。他方、外市秀装苑ビルは柄のパターンを外装の意匠としている。しいていえば表層的なデザインでの勝負に徹底した感がある。西陣の家のマスと坪庭空間の連続に依る住宅提案、COZY御所の借景を意図した断面構成、シンプルではあるが4mx30mの長さを生かした奥行きを持つ喜聞堂/art space 余花庵、そして内部・外部の連続性と縁側デッキを持つ開放的な構成が顕著な愛光みのり保育園が各賞に値すると思った。

京都の清酒のラベリングの楽しさと、米（マイ）Little Kyotoのほんのりした気使いを感じさせる学生達による作品も気に入っている。

中島 信也（東北新社取締役・CM演出家、武蔵野美術大学客員教授）

「デザインとは問題を解決することである」と言われたのはたしかイームスさんやと思いますが、日本へは「デザイン」が「意匠」「図案」という言葉で輸入された関係もあって「考え方」よりも「腕の良さ」が評価されてきました。それは全然悪い事ではないんですけど昨今、社会のあらゆる側面で「デザインによる問題解決」への期待を感じます。今回の京都「デザイン」賞グランプリは「社会問題の解決のためのデザイン」をわかりやすく表す例として、大変意義のあるものや、と評価できると思います。日本のデザインとしては珍しく明快な「哲学」が読み取れるんです。

■ 部 門

A 提案部門……………製品化・実用化することを前提としたもの。

B 作品および製品部門……既に製品化・実用化されているものに限る。

C 課題部門……「日本酒のラベルデザイン」製品化・実用化することを前提としたもの。

■ 分 野 (A、B 部門共通)

第1分野…グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション・パッケージデザイン

第2分野…ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

第3分野…プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン

第4分野…ディスプレイ・インテリアデザイン・建築・ランドスケープ



三井ガーデンホテル 京都新町 別邸

アーキテクトオフィス 石川雅英、(株) S&T FIVE STAGE 津田榮一、
(株) 竹中工務店 木戸貴博、小林浩明、三井デザインテック(株) 森正史、山口昭彦、神田恵



三井ガーデンホテル 京都新町 別邸



「京の邸（やしき）」としてのホテル TRADITIONAL / MODERN

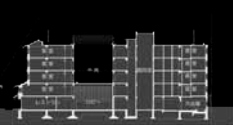
京都らしい趣ある邸がめがける新町通の、商家をホテルに建替えたプロジェクトである。
この地にはかつて、築100年を超える「旧松崎屋京都仕込所」があり、京都に残る数少ない「大店」の魂を今に伝えていた。建替にあたっては、その伝統的風合いや歴史的系譜を継承しながらホテルへと再生・復元することを主眼とした。
全体構成は、切妻屋根や軒・フタシによって水平性やまちなみの連続性を強調し、間戸の隙間を表現している。間戸建物のうち土間のひとは保存活用し、新たにホテルの一部としての役割を与えた。新しく建てられたホテル棟は伝統的に
日本の商家を再現した。商家の空間には茶室にやの敷物を敷き、間戸から入る自然光を再現することによって「家」の心地よさを再現した。また、現代の生活に合わせた設備を備え、ホテルならではの快適性をあえて取り入れ、伝統と現代のコントラストを演出した。
クラシックなデザインを基調に、伝統的な要素を現代風にアレンジし、京都の人々に受け入れられてきた伝統的な邸や品物を再現し、現代建築の表現としての「京らしさ」へ昇格させてゆくことを考えた。
内部空間は中庭を中心に、分断された空間が連続する「邸（やしき）」のような構成としている。モダンな空間としながらも「日本建築の美しさ」を昇華させた繊細なディテールをちりばめることで伝統性と現代性のコントラストを強調した表現とし、その新鮮な価値観が宿泊客を魅了することをめざした。



右左側平面図



1階平面図



断面図





京都府知事賞

—B部門—

Guild Japan Kyoto 『一品・MASAKI』 Series

京洛工芸株式会社



京都市長賞

—B部門—

「古都呼吸石けん」

有限会社アップル・ワイズ



京都商工会議所会頭賞

—C部門—

伏見の清酒

藤田久仁香（京都嵯峨芸術大学短期大学部）



京都新聞賞

—A部門—

宮津・竹の学校 手ぼうきキットとデザインブルーム

宮津・竹の学校 手ぼうきデザインチーム 曾和治好・高木光司・平井幸輝



伏見酒造組合賞

—C部門—

京都の清酒

有限会社らぼっと・わーくす



学生賞

—A部門—

米 (マイ) Little Kyoto

渡邊祐美子
(創造社デザイン専門学校)



入選 (A 部門第 1 分野)

もっと切符

大草翔子・松長ひとみ (京都嵯峨芸術大学)



入選 (A 部門第 1 分野)

ぼつけもん

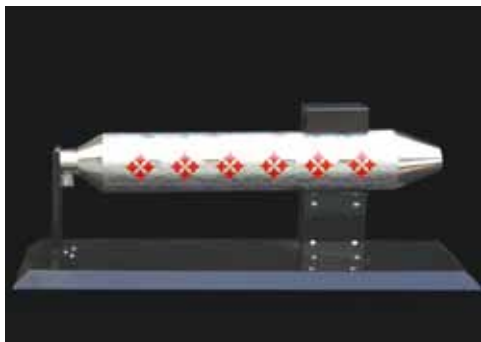
小林美友紀
(創造社デザイン専門学校)



入選 (A 部門第 3 分野)

ハーレーダビットソン ノーマルマフラーカバー

幸栄板金工業 梅原幸男



入選 (B 部門第 1 分野)

ちいさなだいやす

株式会社大安



入選 (B 部門第 2 分野)

シルクキルティングコート

株式会社一壱



入選 (B 部門第 2 分野)

インテリアファブリックで詠えた帯

株式会社ファブリカ



入選 (B 部門第 3 分野)

Silk Art Tea Table 絹ガラス製 「SAT (さっと) テーブル」

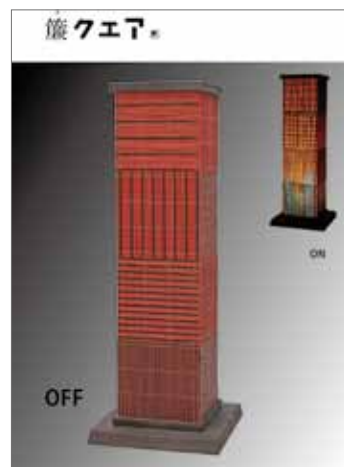
株式会社伊と幸



入選 (B 部門第 3 分野)

簾クエア (スクエア)

京すだれ 川崎



入選 (B 部門第 3 分野)

たが袖元禄小袖復元屏風 松梅帆船模様

株式会社くらちく



入選 (B 部門第 3 分野)

お香 薫々シリーズ

株式会社松栄堂



入選 (B 部門第 3 分野)

モザイク色紙

株式会社尚雅堂



入選 (B 部門第 3 分野)

京のお漬物ポチ袋

株式会社尚雅堂



入選 (B 部門第 3 分野)

舞妓はんメッセージカード

株式会社尚雅堂



入選 (B 部門第 3 分野)

京都西陣織 + 炭素繊維

スターライト工業株式会社



入選 (B 部門第 3 分野)

掛花

株式会社第一紙行



入選 (B 部門第 3 分野)

七十二候カレンダー

株式会社第一紙行



入選 (B 部門第 3 分野)

glassmarker・彩・

竹中大輔



入選 (B 部門第 3 分野)

漉入れ懐紙

株式会社辻商店



入選 (B 部門第 3 分野)

ひとひら懐紙

株式会社辻商店



入選 (B 部門第 3 分野)

Karakami Basket B-04 波頭に渦

株式会社丸二



入選 (B 部門第 3 分野)

Karakami Cone C-04 ぼけ唐草

株式会社丸二



入選 (B 部門第 3 分野)

筒型二本脚行灯

三浦照明株式会社 三浦太輔



入選 (B 部門第 3 分野)

水で戻る漬物 都のつけもん 菜乾(さいかん)

創作漬物処 森乃家(有限会社もりた)



入選 (B 部門第 3 分野)

電子香炉 kioka

株式会社山田松香木店



入選 (B 部門第 4 分野)

西陣の家

PLANET Creations

関谷昌人建築設計アトリエ

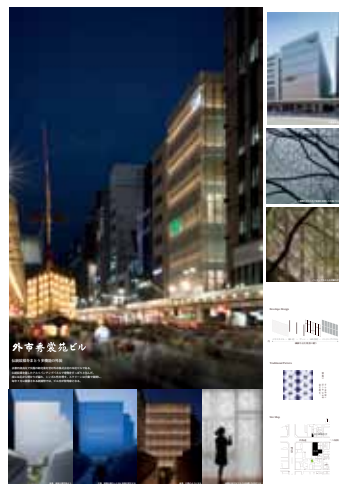


入選 (B 部門第 4 分野)

外市秀装苑ビル

株式会社竹中工務店

森田昌宏・興津俊宏



入選 (B 部門第 4 分野)

COZY 御所

長坂 大 / Mega



入選 (B 部門第 4 分野)

愛光みのり保育園

深江康之建築設計事務所



入選 (B 部門第 4 分野)

喜間堂 / art space 余花庵

矢部達也



公益社団法人 京都デザイン協会

〒 604-8247 京都市中京区塩屋町 39 (三条通小川北西角)
TEL : 050-3385-8008 FAX : 050-3385-8009
URL : <http://www.kyoto-design.net/>
mail : info@kyoto-design.net

■ 主催
(公社) 京都デザイン協会

■ 後援
京都府
京都市
京都商工会議所
(公財) 京都産業 21
京都府中小企業団体中央会
京都市立芸術大学
京都意匠文化研究機構
京都新聞
京都新聞 COM
NHK 京都放送局
KBS 京都
エフエム京都

■ 協力
京都芸術家国民健康保険組合
(株) 染織と生活社
(株) 田中直染料店
府庁日本館利活用応援ネット
(株) リーフ・パブリケーションズ

■ 賛助会員
市田 (株)
(株) イヤタカ
(株) エクザム
(有) エム・イー・エフ
(株) エヌ・シー・ピー
(有) エンカレッジ
(有) 画箋堂
(株) 京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都百貨店協会
(株) 境田商事

(株) 尚雅堂
(株) 聖護院ハツ橋総本店
(株) 竹尾大阪支店
(株) 千總
(株) パウハウス
(株) パルテごとう
富士ゼロックス京都 (株)
平和紙業 (株)
(株) 丸二
山内紙器 (株)
(株) 友愛ビルサービス
六和証券 (株)
(株) 若林佛具製作所

■ 協賛
京都造形芸術大学
京都外国語大学
京都芸術デザイン専門学校
京都嵯峨芸術大学
京都精華大学

(株) 祇園平八
長岡スイミングスクール
イワモトエンジニアリング (株)
(有) エム・イー・エフ
刀剣 開陽堂
株式会社 俄
松井建設 (株)
(株) 高橋工務店
(株) アートバンク
アーバンホテルシステム (株)
(株) アイビー長崎
アドバンスマテリアルジャパン (株)
(株) アルフ
薨技塾 徳舩瓦店 (有)
(株) かねわ工務店
(株) かね工業
北白川天然ラジウム温泉
NPO 法人京都伝統工芸情報センター
京都履物 (株)
弁護士法人 佐渡春樹法律事務所

(株) 穴栗住建
湯の宿 松栄・誠の湯
ターナー色彩 (株)
(株) ターレンスジャパン
(株) 大京リアルド
(有) ティアック
(株) TNC プライダルサービス
(株) ナカタニ工務店
(株) 西川紙業
(株) 西村工務店
万朵花
(株) PALM
(株) フクナガ
ホルベイン工業 (株)
BAL 中澤 (株)
まつもとクリニック
(株) みつくす
(株) メディアインパクト